研究成果発表会
開催案内

新技術フォーラムin盛岡

当センターでは、地域研究開発促進拠点支援（ＲＳＰ）事業という産学官の連携による研究開発支援を行っています。これまでに得られた研究成果の実用化、産業化を推進するために「新技術フォーラムin盛岡」と題し、研究成果発表会を開催いたします。

講演をはじめ、材料・物性、情報エレクトロニクス、医療、食品・バイオ、生物、環境リサイクルの各分野から12件の口頭発表と、9件のポスターセッションを行います。どなたでも参加できます。新技術の研究開発、新産業の創造、産学官ネットワークに関心のある方は、是非ご参加下さいますようご案内いたします。

- ◆ 主　催　科学技術振興事業団（JST）
  (財)いわて産業振興センター
- ◆ 開催日　平成15年9月29日（月）
- ◆ 会　場　ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING
  岩手県盛岡市盛岡駅前北通2-27
  TEL.019-625-1211
- ◆ 参加費　無料
- ◆ 受　付　午後12時30分〜
- ◆ 開　会　午後　1時00分
- ◆ 講　演　政策研究大学院大学　教授　橋本久義氏
  口頭発表12件
  ポスターセッション9件
- ◆ 交流会　午後５時15分〜（参加費4,000円）

住所、TEL/FAX番号、氏名、交流会への出欠を下記の電話、FAXまたは電子メールによりお申し込みください。

当センターのホームページからもお申し込みできます。

お申込み・お問合わせ先　研究開発推進課　TEL 019-621-5072　FAX 019-621-5481
URLhttp://www.joho-iwate.or.jp/info/rsp/
E-mail ogasawara@joho-iwate.or.jp

工業技術センターだより　IIRI Letter

清酒のニュートレンド「低アルコール清酒」

最近10年の酒類の消費量をみると、酒類全体では、ほぼ一定量に落ち着いていますが、その内訳は発泡酒や焼酎が急激にシェアを伸ばすなど大きな変化があります。清酒は年々消費量を減らしており、日本酒造組合中央会のアンケートによれば若い世代ほどその傾向が強く、このままでは将来もこの減少傾向が続くと考えられます。

これは、若い世代には低アルコール酒が好まれ、アルコール度数の高い清酒が飲まれないことが原因の一つと考えられます。そこで、アルコール度数を一般的な清酒の半分にした低アルコール清酒に着目しました。清酒はアルコールが15%程含まれ、アルコールは清酒の味の骨格になっています。アルコール度数だけ下げても味のバランスが崩れ、水っぽい酒になります。そのため、甘味と酸味を強調したり、炭酸ガスの爽やかさを加えるなどして味の調和を保つ必要があります。

当センターでは、昨年度女性パネラーによるモデル酒や試醸酒のきき酒を繰り返し、アルコール度数8%で柑橘類の酸味を効かせ、“清涼感を持った酒”という酒質目標を決めました。今年度は、米と米麹だけでその味を造るよう研究を続けています。今後の“いわてのお酒”にご注目です。

お知らせ

来る9月19日（金）、20日（土）の2日間、工業技術センターを一般公開!

職員一同、皆様のお越しをお待ちいたしております。

お問合わせ先　岩手県工業技術センター　企画情報部
TEL 019-635-1115　FAX 019-635-0311
URL　http://www.kiri.pref.iwate.jp/kiri/
E-mail　kikaku@sv02.kiri.pref.iwate.jp